

米国カリフォルニア州 生食用ブドウは豊富な量と安定した市場を期待

[FreshFruitPortal](#) 2025年6月18日

出荷の中心がメキシコからカリフォルニア州サンホアキンバレーに移る中、フロニスインターナショナルセールズ社のデビッド・エスピノーザ氏は、変わりやすい天候が依然として主な変動要因ではあるものの、生食用ブドウの生産者達は今後数週間の大量の出荷と安定した市場を期待していると述べた。(以下「」は同氏の話)

同氏は、地域間の差、天候の影響及び市場の動向を理解することの重要性を特に強調し、メキシコからの供給は全体で推定2,400万箱のうちこれまでに約890万箱が収穫されており、「シーズンはまだ半ばだ」と指摘した。「天候の影響でこれまでに約500万箱の損失があったことを踏まえ、今後4週間でさらに900万箱が国境を越えるものと予想している。」

カリフォルニア州では、シーズンの進行はサンホアキンバレー、中でもアービン地域での収穫開始と密接に関連しており、デルタバレーとコーチェラバレーに続く同地域での収穫は、最初の主要産地でのシーズンの幕開けを告げるものである。

なお、エスピノーザ氏によると、コーチェラバレーの出荷量は、今年は大幅に少ない。同氏は、「コーチェラは従来約1千万箱を出荷してきたが、現在は250万箱程度だ」と説明し、同地域の出荷シーズンはメキシコと重なっているものの、カリフォルニア州全体として求められる出荷量に貢献できていないと述べた。

「アービン地域からの出荷が始まるとすぐに、小売業者達はカリフォルニア州に注意を向ける。なぜなら、これが約1億箱に達するかも知れないシーズンの始まりであることを知っているからだ。」2025年のカリフォルニア州の出荷量は、当初の推定では前年よりわずかに多い約9,500万箱と予測されている。

市況

今後について、エスピノーザ氏は、これまでに観察されたブドウの房数の増加に基づき、今シーズンは生産量が増える可能性があるかと予想していた。しかし、気象現象、特に7月と8月の熱波が収穫量に大きな影響を与える可能性があると同氏は警告している。

「熱波は植物にストレスを与え、落果につながり、場合によっては大きな損失につながる可能性がある。」広大なカリフォルニア州全体での極端な気温や降雨などの天候要因は、予測できないような収穫量をもたらすことが多く、当初の予測から5～6%程度減少する可能性がある。

エスピノーザ氏はまた、カリフォルニア州の輸出と収穫の予定が緊密に調整されていることを強調した。「11月下旬までに、カリフォルニア州の収穫の90%が完了し、生産者達は貯蔵寿命を12月、できれば1月まで延長するために低温貯蔵を計画している。これにより、小売業者への継続的な供給がサポートされる。」カリフォルニア州からのコンテナ出荷は通常、西海岸市場に向けられ、ペルー、チリ、その他の原産地からの輸入が12月までの供給を補う。

今年の市況はかなり安定している。「メキシコには余剰在庫がなく、供給過剰でないため価格はかなり安定している。」同氏は、メキシコからの出荷は比較的期間が短く、約8～10週間継続し、合計で約2,400万箱になると付け加えた。「季節的な需要パターンは、ピーク時にはメキシコからの余剰な果実がアリゾナ州ノガレスの貯蔵庫に一時的に入る可能性があることを意味しているが、全体としては価格が維持されている。」

物流と需要の要因に関してエスピノーザ氏は、ノガレスの輸入業者とブローカー達が取引量の急増を精力的に管理していると指摘し、カリフォルニア州の出荷量が予想どおりに増加し続ける場合、6月下旬に供給過剰が発生する可能性があるかと予想している。同氏は、カリフォルニア州からの出荷量の増加は、特にブローカーや輸入業者が余剰在庫の販売を強行する場合、一時的な価格下落につながる可能性があるかと述べた。

市場の課題について、エスピノーザ氏は、関税は現在の懸念事項ではないと述べた。「メキシコ、カナダ、米国間の既存の貿易協定のおかげで、カリフォルニア州のブドウの輸出に関税の問題は見られない。」

消費に関しては、業界の動向は生食用ブドウの需要が高まっていることを示しているが、米国内の小売の販売プロモーションではまだトップレベルの位置付けになっていない。

「ブドウは現在、宣伝されている果実のトップ5に入っていない。」エスピノーザ氏は、ブドウを積極的に宣伝している店舗数は、昨年の早い時期の約1万8千と比較して、今年は約1万であると指摘する。価格が安定しているか、わずかに上昇しているにもかかわらず、シーズンのこの段階では消費者向けの販促活動は緩やかなものにとどまっている。

「アービン地域では、昨年に比べておそらく5～7日ほど早く収穫が始まるだろう。農務省の糖度の報告書はまだ手にしていない。通常、房数が多い場合、糖度は期待されるほど高くない。我々は、例年どおり夏のシーズンの出荷量と品質に大きな期待を寄せており、今年は天候がどうであろうとすべてに対処し、管理する準備ができています。」

執筆者：カーラ・エスピノーザ・グティエレス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

(関連記事) 米国カリフォルニア州 ブドウは高値で始まる可能性

[FreshPlaza 2025年6月19日](#)

「セントラルバレーのブドウシーズンは高価格で始まる可能性が高い」

カリフォルニア州の生食用ブドウの主産地であるセントラルバレー地域での収穫は、まだ数週間先である。ブドウ園プリティレディのニック・ダルシッチ氏は「現時点では、収穫がいつ始まるのかを正確に判断するのは難しい」と言い、「7月1日から7月10日の間に開始されると見られるが、大多数の生産者は4日以降に収穫を始めると思う。果実は味が良くなければならないので、適切な糖度になるのを待つということだ。酸っぱいブドウを摘むなどは、父がよく言っていたことだ」と語った。(以下「」は同氏の話)

これまでのところ、天候は理想的である。開花は良好で、好条件のためにいくつかの品種では着果量が多かったが、房を間引いたことで状態は大きく改善された。「その結果、作物の負荷が過大にも過少にもならず、高品質の果実と高い収量が期待される。シーズンがどのように展開するかを判断するのは時期尚早であるが、現在の状況を見ると、果実の品質は大変良い。最善の結果を願っている。」

需要が供給を上回る シーズンの初めには需要が高く、価格も高くなると予想される。メキシコ産のブドウの出荷量は当初の予測を下回っており、その結果、カリフォルニア州のセントラルバレーからの出荷が始まる時には、流通在庫は比較的少なくなると予想されている。カリフォルニア州産のブドウが市場に入荷する時には、需要が供給を上回る状況である可能性が高い。「そのため、流通在庫が積み上がって市場が安定するまでは、高価格の過熱した市場が予想される。」流通在庫が少ないことに加えて、今年の予想ではセントラルバレーのブドウの出荷量も減少する。「その上、我々の農場は早生産地のマリコパ市にあるので、価格の高騰は3週間続く可能性があると考えている。」

同ブドウ園の出荷シーズンは、早生の緑、赤、黒の品種で始まる。それはそれぞれシュガードロップ™、ルビーラッシュ®、ミッドナイトビューティー®である。「これらが我々のシーズン開始時の品種であり、7月下旬ないしは8月上旬まで収穫され、その後にシーズンの第2段階に移行する。」

執筆者：マリーカ・ヘムス (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

訳注：関連記事中のセントラルバレーは広大な地域であり、最初の記事のサンホアキンバレー、デルタバレー及びコーチェラバレーを含みます。